

IDNo.	号数	年 月	著 者	題 目	ページ	備 考
107	36	S47. 2	所 莊 吉	国友鍛冶の由来	01~18	
108	36	S47. 2	南 坊 平 造	火薬の発明 第10回	19~26	
109	36	S47. 2	高 井 稔次郎	艦砲射撃術 第3回	27~38	
110	36	S47. 2	所 莊 吉・吉岡新一	史料紹介 国友鍛冶文書 (2)	39~53	共著
111	37	S47. 3	所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶年寄制度の研究	01~22	
112	37	S47. 3	所 莊 吉	資料紹介 東洋諸国の古銃概況	23~34	
113	37	S47. 3	所 莊 吉・吉岡新一	史料紹介 国友鍛冶文書 (3)	35~41	共著
114	38	S47. 4	山 田 太 郎	海軍工作庁年表 (2)	01~15	付録 日本火薬 史年表 他
115	38	S47. 4	所 莊 吉	国友十人方鍛冶について	16~34	
116	38	S47. 4	山 田 太 郎	初期の呉海軍工廠 海田仁助老の談話	35~39	
117	39	S47. 5	山 田 太 郎	光海軍工廠のことども (1)	01~10	
118	39	S47. 5	有 馬 成 甫	生麦事件と薩英戦争 (1)	11~25	
119	39	S47. 5	所 莊 吉	一貫斎の気砲をめぐって	26~42	
120	40	S47. 6	有 馬 成 甫	生麦事件と薩英戦争 (2)	01~18	
121	40	S47. 6	所 莊 吉	国友に於ける鉄砲製作の起源	19~50	
122	40	S47. 6	所 莊 吉・吉岡新一	史料紹介 国友鍛冶文書 (4)	51~54	共著
123	41	S47. 7	所 莊 吉	木砲雑感—江川担庵の木砲—	01~10	
124	41	S47. 7	安 齋 実	合武三鳥流船軍学森重流砲術について	11~29	
125	41	S47. 7	所 莊 吉・吉岡新一	史料紹介 国友鍛冶文書 (5)	30~44	共著
126	42	S47. 9	山 田 太 郎	海軍工作庁年表 (3)	01~18	
127	42	S47. 9	所 莊 吉	大阪役以後の国友鉄砲鍛冶	19~29	
128	42	S47. 9	山 田 太 郎	承前・海軍製鋼作業の沿革	30~37	
129	43	S47. 10	所 莊 吉	若拙国友戸十郎のことども	01~12	
130	43	S47. 10	山 田 太 郎	光海軍工廠のことども (2)	13~23	
131	43	S47. 10	山 田 太 郎	海軍工作庁年表 (最終回)	24~28	
132	44	S47. 11	奥 村 正 二	幕末反射炉の技術的評価	01~06	
133	44	S47. 11	所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶について	07~24	
134	44	S47. 11	川 北 智 三	射撃競技の為の「精密弾道学」の古典的 研究 (1)	25~29	
135	45	S47. 12	所 莊 吉	国友鉄砲の上納	01~27	
136	45	S47. 12	川 北 智 三	射撃競技の為の「精密弾道学」の古典的 研究 (2)	28~37	
137	45	S47. 12	山 田 太 郎	Q四施設について 附表共	38~53	
138	46	S48. 2	南 坊 平 造	設楽原の鉄砲戦と鉄砲菓	01~10	
139	46	S48. 2	田 中 宏 巳	清初紅衣砲車の輸送問題	11~21	
140	46	S48. 2	川 北 智 三	射撃競技の為の「精密弾道学」の古典的 研究 (3)	22~39	
141	46	S48. 2	所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶の身分について	40~46	
142	47	S48. 3	所 莊 吉	木尾事件 鉄砲制作の耐火土をめぐって	01~15	
143	47	S48. 3	奥 村 正 二	和鉄で大砲が作られたか. 大橋高炉建造 の出発点	16~21	
144	47	S48. 3	山 田 太 郎	呉海軍工廠電気関係部回顧	22~33	
145	48	S48. 4	川 北 智 三	撃競技の為の「精密弾道学」の古典的 研究 (4)	01~18	
146	48	S48. 4	所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶の生活	19~40	
147	48	S48. 4	南 坊 平 造	日本の火薬の歴史(附図共)(その1)	41~59	
148	49	S48. 5	所 莊 吉	国友鉄砲鍛冶の定式配分について	01~17	
149	49	S48. 5	川 北 智 三	射撃競技の為の「精密弾道学」の古典的 研究(最終回)	18~29	
150	49	S48. 5	太 田 弘 毅	明代の海上火器について (前)	31~50	
151	49	S48. 5	南 坊 平 造	日本の火薬の歴史(その2)	51~66	
152	50	S48. 6	山 田 太 郎	艦砲の事故について	01~22	
153	50	S48. 6	所 莊 吉	国友に於ける定式筒のおこり	23~51	
154	50	S48. 6	太 田 弘 毅	明代の海上火器について (後)	52~63	
155	51	S48. 7	所 莊 吉	国友に対する幕府諸組の銃砲注文	01~12	
156	51	S48. 7	南 坊 平 造	日本の火薬の歴史(その3)	13~22	